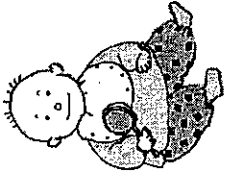
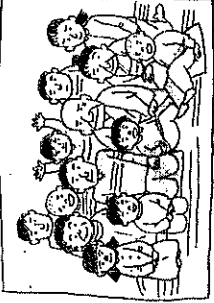
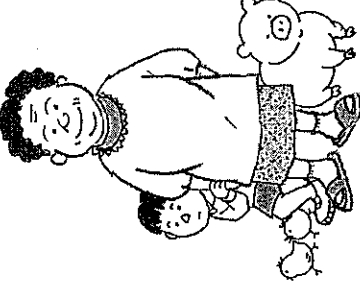
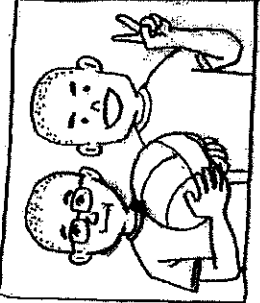
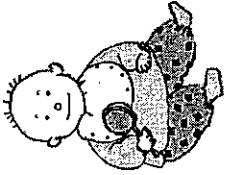
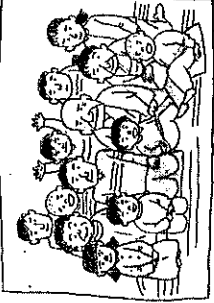
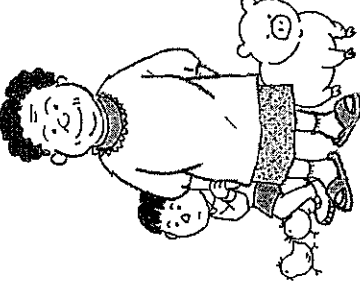
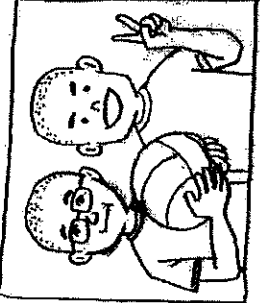
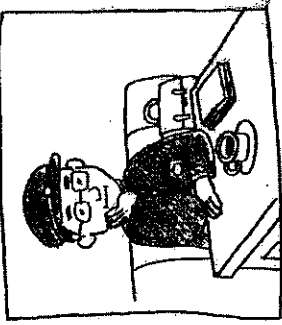
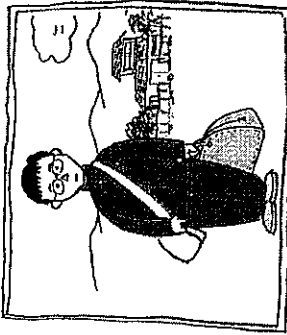



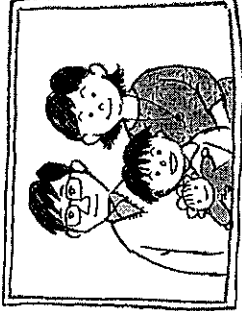

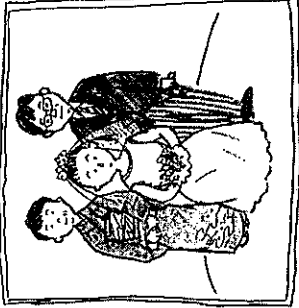
# 人生申告表

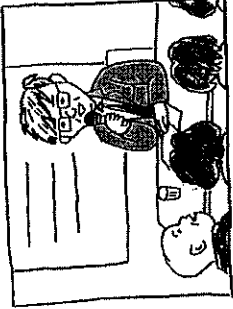
時代	家族のこと	印象に残っていること 好きだった歌手：役者／好きだった歌、映画、TVドラマなど	写真
誕生	祖父母、父母、 長姉十男6人 の末っ子、ほ かに父の妹と その娘の13人 家族	・昭和25年3月、北海道大沼公園の近く に生まれる。	
就学 まで	叔母が再婚し、 長姉も結婚し て家族の縮小 化がはじまる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の大家族の中に生まれ育つ。</li> <li>・特に記憶に残っていることはない。母親からほとんどしゃべらない子どもだったと聞いたことがある。</li> <li>・母親は「おしん」のように苦労したらしい。</li> </ul>	
小学校	祖父老衰死 PPK (84歳) (昭和35年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50人1クラスで6年間通ります。内気で                      おとなしい小学生。母親に内弁慶と言わ                      れた記憶あり。</li> <li>・高学年になって、家業の養豚(300頭)、                      養鶏(3000羽)の一部を手伝い始める。                      子豚とヒヨコはかわいかった。</li> </ul>	
中学校	祖母老衰死 PPK (82歳) (昭和39年) 長兄交通事故死 (昭和39年) 次男が家に戻 り、家業を継ぐ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バレーボール部に所属。徐々に周囲とう                      ち解けることができようになるようになってきた                      様子。しかし、依然として人前で話すこ                      とは苦手。</li> <li>・家業の手伝いはかなりまじめにやっていた                      た(養豚、養鶏場の清掃、給餌など)。</li> </ul>	

# 人生申告表

時代	家族のこと	印象に残っているできごと 好きだった歌手・役者/好きだった歌・映画、TVドラマなど	写真
誕生	祖父母、父母、 長姉十男6人 の末っ子、ほ かに父の妹と その娘の18人 家族	・昭和25年3月、北海道大沼公園の近く に生まれる。	
就学 まで	叔母が再婚し、 長姉も結婚し て家族の縮小 化がはじまる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の大家族の中に生まれ育つ。</li> <li>・特に記憶に残っていることはない。母親                      からほとんどしやべらない子どもだった                      と聞いたことがある。</li> <li>・母親は「おしん」のように苦労したらし                      い。</li> </ul>	
小学校	祖母老衰死 PPK (84歳) (昭和35年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50人1クラスで6年間通ごす。内気で                      おとなしい小学生。母親に内弁慶と言わ                      れた記憶あり。</li> <li>・高学年になって、家業の養豚(300頭)、                      養鶏(3000羽)の一部を手伝い始める。                      子豚とヒヨコはかわいかった。</li> </ul>	
中学校	祖母老衰死 PPK (82歳) (昭和39年) 長兄交通事故死 (昭和39年) 次男が家に戻 り、家業を継ぐ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バレーボール部に所属。徐々に周囲とう                      ち解けることができようになるようになってきた                      様子。しかし、依然として人前で話すこ                      とは苦手。</li> <li>・家業の手伝いはかなりまじめにやっていた                      た(養豚、養鶏場の清掃、給餌など)。</li> </ul>	

時代	家族のこと	印象に残っているできごと ・好きだった歌手、俳優、好きだった歌 映画、TVドラマなど	写真
10代 後半	この当時に残っていたのは、父母、次男、五男と六男である自分の5人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・函館市内の公立高校に毎日汽車で通学。所属クラブなし。1年生の後半頃から勉強についていけなくなる（理解能力が低いというえに、予習と復習を自発的に行うという自己管理能力に欠けていた）。</li> <li>・家業の手伝いは相変わらず比較的まじめにやっていた。登校前にプロライナーを料理屋に配達、下校時に集金と翌日の注文を聞いて帰るのが日課。汽車の待ち時間は喫茶店で友人と遊んでいた。</li> <li>・大学進学も就職先も何も考えてないなかで、何となく偶然、公務員になる。</li> <li>・就職とともに家を離れ、社宅住まいになる。</li> <li>・父親から「タダ酒」は公務員を墮落させるので慎むように戒められる。</li> </ul>	
20代 前半	19歳の時に母親が肺ガンで死亡（59歳）（昭和44年）入院期間約2か月 23歳の時に結婚（昭和48年）妻もフルタイムワーキング者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年半勤務して東京に転勤（上司に勧められたことがきっかけ）。</li> <li>・昭和46年～50年、夜間大学に通い卒業証書を手にするも、登校、勉強はほとんどせず。</li> </ul>	
20代 後半	倦怠期を何とか乗り越える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和50年本社転勤。2～3年ごとに部署を異動しながら同じ建物の中で勤務。</li> <li>・自舎が遠く、通勤に苦勞。</li> <li>・有楽町のガード下でよく同僚とホッピーを飲んでいました。</li> </ul>	

時代	家族のこと	印象に残っているできごと 好きだった歌手・役者／好きだった歌、映画、TVドラマなど	写真
30代	父死亡 (76歳) 入院期間約2 か月 (昭和55年) 長女誕生 (昭和56年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係長として毎日残業の日々。</li> <li>・娘の保育園の送りは父親の担当とする。夜の帰りが遅く、父子の接触は朝のみであるため。</li> <li>・昭和59年に建て売り住宅を購入して引っ越し。</li> <li>・娘の小学校のPTA活動として行われていたバドミントンクラブに参加する。</li> <li>・仕事の関係でアルコール依存症の自覚活動「AA」を勉強。酒害者の体験談を聞いているうちに自分も似たような行動をしていると感じ、アルコールの飲み方に問題があると病識をもつに至る。</li> </ul>	
40代	平成10年頃から 田舎の義母 に認知症状出 現。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課長補佐に。あいかわらざる残業の日々。課長と係長の板ばさみで苦しみむむことなる。</li> <li>・老後の時間をお金をかけずに過ごす練習をするため、日曜日の午前中に近くの特養ホームに行き、ごみの片づけやおしぼりづくりなどを手伝う。</li> <li>・仕事では新しいプロジェクトの一員として開わる。</li> </ul>	
50代	長女結婚 (平成18年) 夫婦2人きりの 生活となる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職となる。</li> <li>・尿酸値が9.0と診断されビールを節制しなければと思った時期あり。しかし、生活習慣病予防の継続の難しさを痛感。食事内容とアルコール量に注意する。</li> <li>・健康観察日記を毎朝パソコンに記録し始める。</li> <li>・身内の苦勞話を聞き、認知症問題が他人事とは思えなくなる。認知症発症に備え、人生申告表などをつくり始める。</li> <li>・「認知症のひとと家族の会」に入会する。「認知症サポーター養成講座」を受講。オしンジリングをつけ始める。</li> </ul>	

時代	家族のこと	印象に残っていること 好きだった歌手、役者、好きな歌 映画、TVドラマなど	写真
60代 前半	孫誕生 義母死亡(87歳) (平成23年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定年退職を迎え、第二の職場に就職する。天引きと批判される。</li> <li>・血圧が下がらず、ついに降圧剤の服用が始まる。</li> <li>・長女に子どもが生まれ、孫の顔を見る楽しみが増えた。</li> <li>・ときどき、『自己点検ノート』の講演を頼まれて、楽しんでる。</li> </ul>	
60代 後半			
70代			
80代			
90代～			

◆介護者へのお願い：これは私のクセを紹介したものであり、介護者が私のクセに合わせて演技を  
 していただくための情報です。私にはもう演技をする状況認識能力はありません。周囲の思惑に  
 関係なく、私の直感でしか行動できませんので。

記入・更新日 年 月 日

氏名	石黒 秀喜	誕生期	1950年3月30日
美家	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生まれは北海道であるが、生家がなくなってしまうことはすり込まれているはず。</li> <li>・生家以外の住まいの中で一番印象に残っているのは、荒川区町屋の家。見当識障害で、「家に帰る」というときは、多分この家である。</li> </ul>		
同姓	—		
愛称	職場では「石黒さん」、妻からは「ひでくん」		
自律度 (自己管理能力)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創造性に乏しいが、ヒントとノルマを与えられると一定の努力はする。典型的三日坊主。上司からのノルマ設定と進行管理がなければ成果を上げられない。</li> <li>・学校時代の夏休みの宿題などはいつも中途半端。課題先送り型。</li> <li>・書類を家に持って帰っても仕事をすることは極めて稀。</li> <li>・積極的に自己主張する場面は少ない。勝ち気な性格ではない。</li> </ul>		
他人に対しての対心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の顔色を見て発言する傾向がある。争いごととは苦手。攻撃性に乏しい。</li> <li>・自信がないことでも断れない。八方美人的。リーダーシップに乏しい。相手に合わせざるほうが楽。協調性が最大唯一の長所。ホメるが勝ち主義。よく板ばさみで悩むこととなる。相手がいやがるであろうと思うことは頼めない。</li> <li>・金銭面では割り勘人生。おごるタイプではない。おごられるのもいやがる。</li> </ul>		
話し方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話はよく聞く。話の途中で割り込むことは少ない。多弁ではない。なまりがあってトツトツとしたしゃべり方。</li> </ul>		
口癖	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分では特に気づいているものはない。</li> </ul>		
行動 (自己顕示とひがみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極性はあまりなく、基本は受身。せいぜい気のあった仲間を割り勘で居酒屋に誘う程度。</li> <li>・身の丈生活をモットーとし、「隣の芝が青い」などと無駄な比較をしてひがまない。</li> </ul>		
異性観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性には大いに関心があるが、リーダーシップが乏しく自ら女性を誘うほどの度胸はない。しっかりタイプ女性の女性について行くほうが気楽だと思っている。介護は男性より女性にしてみらうことを希望する。前頭葉が壊れてきたら女性職員にセクハラをするかもしれないませんが、お許し願います。</li> </ul>		
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妻にも娘にも小言も言えない小心者である。</li> <li>・指示するのも、指示されるのも苦手。命令口調には内心では反発すると思う。</li> <li>・適当におだてておけば、食事準備、あと片づけ、洗濯物たたみなどに協力的に参加すると思う。</li> </ul>		

人格  
性格  
など

<p>病歴と 投薬歴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・60歳の頃に高血圧症と診断される。降圧剤服用開始。</li> </ul>
<p>薬・病院に 対する意識</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康チェックは、年2回行う献血時の血液検査結果を活用。血液型はAB型。歯科は月1回受診。</li> <li>・大病・長期通院歴なし。薬アレルギーなし。毎日血圧、体重測定をし、健康日記作成。</li> <li>・基本的に病院・人間ドックはさきらい。がん検診は意識的に受けない。</li> </ul>
<p>終末期対応 葬儀 遺言</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定能力の喪失後においてまで人工的に延命されたくない。管（クダ）はさきらい。尊厳死協会加入済み。緩和医療を希望。心臓マッサージ、気管切開は拒否。代行判断は①妻、②娘とする。死に方は手遅れのガンねらい。葬儀は質素を旨とするが遺族に委ねる。BGMは「千の風」、本人用辞作成予定。</li> <li>・本家ではなく墓なし。どうするか家族の合意が形成されていない。</li> <li>・遺言するほどの財産もないし、子どもは1人なので作成しないだろう。</li> </ul>
<p>趣味 余暇 特技 生きがい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バドミントン（ママさん相手の初級者レベル）、練習後の居酒屋が楽しみ。野球・サッカー・相撲など、スポーツは観ない。</li> <li>・旅行は水族館、動物園、魚市場のあるところが好き。</li> <li>・名所、史跡は学がなく興味なし。</li> <li>・温泉に浸かるのは好き。余暇にはごろ寝。</li> <li>・金のかからない暇つぶしに、日曜日午前中は特養ホームに遊びに行っている（老後の準備運動）。特技はなし。</li> <li>・絵・書・写真などの芸術を観られない、語れない。本を読み出すと強度の睡魔に襲われる。</li> <li>・古い支度講座の講師が趣味。</li> </ul>
<p>好きな歌 歌手</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな歌は小中学校時代に聞いたアメリカンポップス、映画音楽。BGMとしてはモーツァルトなど。カラオケは苦手だが、強制されるとマイクを持つ。</li> <li>・グループホームに入居する際に持参するCDは娘に指示済み。</li> </ul>
<p>嗜好</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・踊りは苦手。リズム感なし。</li> </ul>
<p>好きな テレビ番組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・囲碁、音楽番組、動物、魚、旅行、自然紹介番組は好き。</li> <li>・ハラハラ、ドキドキするサスペンス番組などは苦手。</li> <li>・芸能人の仲間内のバラエティー番組がきらい。</li> </ul>
<p>ペット</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の頃は猫と寝ていた。</li> <li>・動物は好きではあるが、飼うと家を空けられないので飼わない。近所の猫をかわいがっている。</li> <li>・娘とぬいぐるみで遊んでいた。</li> </ul>
<p>家事・作業 へのこだわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものぐさで、部屋の乱雑さは気にならない。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回想法に有効と思われるのは、「ヒヨコ」と「子豚」であるが、成長したあとの処分に関心がない。</li> </ul>

身だしなみに対するこだわり	無頓着。外に出なければ1日中パジャマ。髭も剃らない。
	特に好みはない。服は自分で買う。家族からはセンスがないと馬鹿にされている。
	・どうでもよい。
衣	好きな服装
	髪型
	好きな履物
食	その他
	好きな食べ物
	好きな飲み物
	嫌いな食べ物
	料理への関心
	その他
	大切な家具
	大切なもの
	座のとり方
	睡眠のしつらえ
住	自室の様子
	その他
	宗教など
その他	

⊕上記の表を元に、私の行動障害の傾向、行動障害発生の予兆などを探り、上手に介護をしてください。きつとこういう時にすねる、抵抗する、怒る、こういう時に外に出たがる、こうすれば落ち着く、こう言えは満足そうにしているなど、何らかのクセが出ると思います。

さて、この情報がどれくらい役に立つか？

⊕観察のポイントは以下のとおりです。

①いつ ②どこで ③どのような状況で発生しているのか あるいは、④その症状があらわれないのはどのような状況の時か